

プレスリリース

2019年6月17日

メディアリンクス 韓国 KOBASHOW 2019 出展報告

株式会社メディアリンクス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長 ジョン・デイル 東証ジャスダック 6659 以下メディアリンクス）は、韓国のビジネスパートナーである株式会社アイゼンシステムズ（英語名：IISN Systems Co.Ltd、本社大韓民国ソウル特別市 CEO SangYong Ahn 以下アイゼンシステムズ）と共同で、2019年5月22日（水）から25日（土）にソウルで開催された韓国最大の放送機器展示会 KOBASHOW 2019 に出展しました。天候に恵まれたこともあり、展示会の総来場者は、4日間で43,095名に上りました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えて、韓国の主要放送局や大手通信会社が、当社製品 MD8000 の導入をご検討いただいていることもあり、多くの放送通信業界関係者のお客様にご来場いただき、当社の製品にご興味をいただく絶好の機会となりました。

当社では、今後も韓国の通信会社、放送局のご要望にお応えするため、現地パートナーであるアイゼンシステムズ社と緊密に協力し、先進的な製品をご提供してまいります。今後ともどうぞご期待下さい。ご来場頂きました皆様に、心より御礼申し上げます。

■展示概要

今回の KOBASHOW2019 は、白を基調にしたアイゼンシステムズ社のブース内に、当社イメージカラーである緑色の会社ロゴをデザインした、会場でも特に目を引く、大型モニターを配置したメディアリンクス専用エリアを設けました。

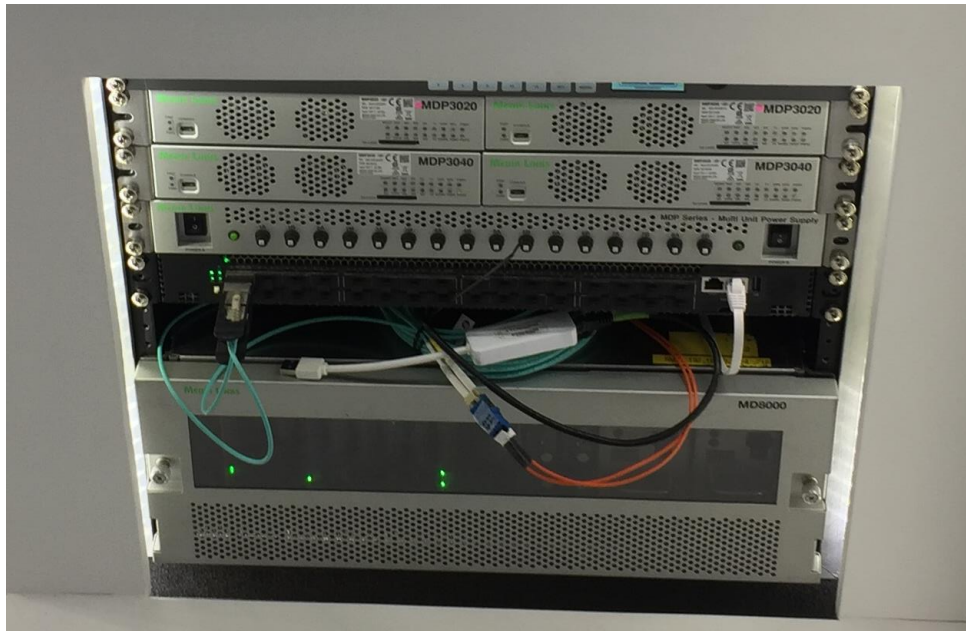


メディアリンクス製品展示エリア



多くのお客様でにぎわうブース全景

韓国国内の通信会社、放送局で広くご採用頂いている MD8000 フル IP 伝送装置をはじめ、新製品である 100GIP コアスイッチ MDX32C、4K12G-SDI 対応 TICO 圧縮 IP 伝送装置 MDP3040、2KIP 伝送装置 MDP3020 のデモ展示いたしました。また、ネットワーク監視及び装置管理 Tool ProMD-EMS のシミュレーションデモも行いました。



コンパクトにレイアウトされたデモ機材。

上段から MDP3020 (1RU ハーフ)、MDP3040 (1RU ハーフ)、MUPS/MDP 専用電源 Unit (1RU)、MDX32C (1RU)、MD8000 (4RU)

■MDP3040/MDP3020

ブース内に設置した大型モニターでは、実際の映像信号の伝送をトータルソリューションとして 12G-SDI 対応の MDP3040 でヴィジュアルロスレス画質、超低遅延で圧縮し IP 伝送 (10GbE) した 4K 画像と、2 チャンネルの HD 信号を MDP3020 でそれぞれ JPEG2000 圧縮、非圧縮で取り扱い、同時に IP 伝送した画像の比較展示を行いました。

